

1・2・3

特別支援教育だより No.1

特別支援教育だよりとして、本校の取組についてご紹介していきます。

特別支援教育とは？

全ての子どもたちのもっている力を、最大限に発揮できるように自信を育てる指導をすることです。そのために、**安心感とわかりやすさ**を高めしていく工夫をします。また、「会話」や「対話」の場面でのコミュニケーションを支援します。



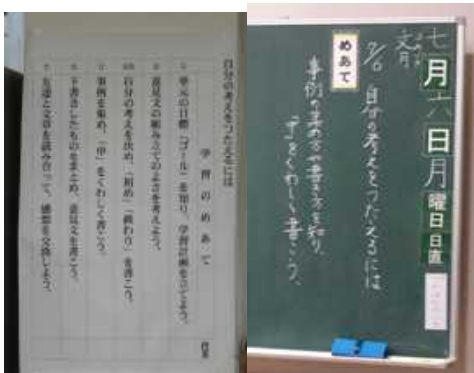
～すべての子どもに、どのクラスでも～

仲間とつながり合い、支え合う関係づくりを進め、安心感の中で、どの子にとってもやさしくて、わかる、できる学習を目指す・・・それが、吉田西小の特別支援教育です。

何らかの困難や困り感を抱えながらがんばっているすべての子どもたちに、よりよい援助を提供できるように、本校の職員は努めています。具体的な取組を紹介していきましょう。

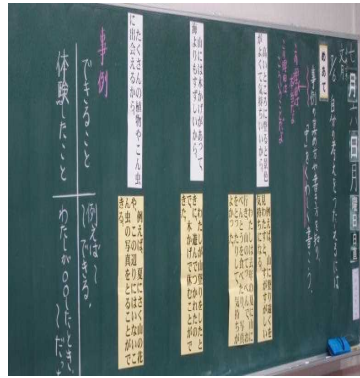
- ①「児童理解→援助方針→個別援助や集団活動の実践→評価・方針の見直し」といった計画・実践・評価・改善のサイクルで、効果を確認しながら、的確な援助を展開しています。
- ②児童理解や援助方針は、全職員で共有します。困難の度合いによっては、担任同士がチームを組んだり、全職員がチームとなったり、組織的に対応しています。
- ③だれにでもやさしく、わかりやすいユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業実践を推進しています。

☆見通しをもてるようにする



(学習計画・めあてをもつ)

☆視覚的に示す



(色カード等で分かりやすく)

☆共有化・学び合い



(グループ活動での学び合い)

*学校では、学校教育をする上で保護者やご家族の皆さんも、子どもを支え、育むための重要な援助者と考えています。問題状況や困難の改善、効果的な援助・教育のためには、学校と家庭の協力が不可欠です。お子さんの問題や気になること、保護者の方の困り事・子育ての悩み・援助方針の希望など、何でもお気軽に各学級担任にご相談ください。放課後に時間を設定しての面談も随時可能です。直接ご連絡をいただくことも可能です。

(具体的な取組について・・・次号につづく)

- 特別支援教育コーディネーター（発達、学習・行動面の困難などの相談）： 福島久子
- 市学校教育サポートセンター・スクールカウンセラーコーディネーター（心の問題、子育ての悩み、外部の相談機関等の利用）： 坂本美保
- いじめ・不適切な指導等担当：

教頭（橋本俊明）、辻 泰臣

※学校以外では、「下野市学校教育サポートセンター」0285-52-1140（直通）も利用できます。